

膳棚遺跡現場説明会が行われました

膳棚遺跡は、山梨市北地内にあり、西関東連絡道路建設工事に伴って発掘調査が行われました。調査の結果、住居跡43軒、土坑等120基、溝4条などがみつかっています。遺構に伴って出土した遺物から、平安時代末（今からおよそ1000年前）のものとわかっています。

平安時代末、この地域には、数十軒規模の集落があったことが確認できました。

山梨市内で、平安時代末の集落がこれほどの規模で見つかることは過去に例がなく、地域の歴史を知る上でも貴重な発見となりました。

発掘の成果を紹介するため、11月4日に現地説明会を行いました。説明会当日は、およそ100名の参加者がありました。参加者たちは、遺跡の説明に興味深そうに耳を傾け、質問していました。



平成24年度やまなし再発見講座&埋蔵文化財センターシンポジウム

■4回講座「自然災害と考古学～過去からの警告～」

日時 平成25年2月7・14・21・28日（いずれも木）14時～16時

場所 山梨県生涯学習推進センター・セミナー室

■基調講演&シンポジウム

「遺跡が語る地震の歴史」 講師 寒川 旭氏（独立行政法人産業技術総合研究所）

「未来を語る環境考古学～災害を掘る～」講師 高橋 学氏（立命館大学教授）

日時 平成25年3月23日（土）13時～17時

場所 山梨県立男女共同参画推進センター（ぴゅあ総合）大研修室

下半期遺跡調査発表会

日時 平成25年3月16日（土）

13時～16時

場所 山梨文化財研究所 大ホール

山梨の遺跡展2013

日時 平成25年3月9日（土）

～4月14日（日）

場所 山梨県立考古博物館 多目的室

山梨県埋蔵文化財センター

埋文やまなし 第43号

発行日 2013年2月1日

編集・発行
山梨県埋蔵文化財センター
〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923
Tel 055-266-3016
印刷 (株) 峽南堂印刷所

山梨県埋蔵文化財センター

ARCHAEOLOGICAL CENTER
OF
YAMANASHI PREFECTURE

埋文やまなし

<http://www.pref.yamanashi.jp/maizou-bnk/> 2013.2.1

第43号

特集!! 山梨県埋蔵文化財センター開所30周年!!!

山梨県埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の調査研究及び保護と活用を図るため、中央自動車道建設・中核工業団地建設・農業基盤整備事業等大規模な開発が進められていた昭和57年に、甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園内に設置されました。

以来30年間、県内各地で確認調査や大規模公共事業に伴う発掘調査や貸出キットの充実、様々なイベント等を行うことで埋蔵文化財の保存と活用を図ってまいりました。その中でも特に貴重な出土資料15件余りが、今日までに国や県の文化財に指定されております。

30年間を振り返ってみると、開所～10年間は中央自動車道・農業基盤整備関連の大規模な遺跡調査が多く、10～20年間は中部横断自動車道・リニア実験線関連が中心でした。20～30年間は、発掘調査を行う一方で地域や学校の要請を受けて、地元の遺跡の出土品等から地域の歴史を学び、土器・石器作りや火おこし等の体験学習をする、出前支援事業を県内各地で行っています。さらに、平成22年度からは、鉄門の復元を進めている県史跡甲府城跡を会場に、11月20日の県民の日を中心とした休日に「ひらけ! 玉手箱」と題した古代技術中心の体験イベントを行ってきました。そういった場では、目を輝かせて耳を傾け、積極的に質問する参加者が多く、埋蔵文化財を通じた地域の歴史に人々の理解と関心を強く感じます。

このような県民の要望と増加する考古資料に対応するため、平成24年度から北杜市に「遺跡まなび館」を設けて、収蔵機能強化と考古資料の積極的な活用も進めております。これからも、埋蔵文化財の保護と活用を進めることで、子供から大人までの幅広い県民に親しまれる学習の場を提供すると共に、ふるさと山梨への誇りと愛着をもてるように努力してまいりますので、これからもご理解とご協力をお願い申し上げます。

山梨県埋蔵文化財センター
所長 八巻 與志夫

埋蔵文化財センター30年のあゆみ

1982年	(昭和57)	山梨県埋蔵文化財センター開所。
1983年	(昭和58)	金生遺跡(北杜市)が国指定。
1983~ 1988年	(昭和58~ 昭和63)	国指定史跡 銚子塚古墳附丸山塚古墳(甲府市)史跡整備にともなう第1次発掘調査開始。
1984年	(昭和59)	第1回遺跡調査発表会開催(以後毎年2回開催)。『年報』1および『研究紀要』1を刊行(以後毎年発刊、『研究紀要』は考古博物館と合同)
1989年	(平成元)	甲西バイパス建設にともなう試掘調査開始。
1990~ 2000年	(平成2~ 平成12)	県指定史跡 甲府城(甲府市)石垣整備事業開始。
1991年	(平成3)	リニア実験線建設に伴う試掘調査開始。
1995年	(平成7)	「埋文やまなし」創刊号を刊行。
1999年	(平成11)	一の沢遺跡(笛吹市)出土品176点が国指定。
2000年	(平成12)	調査研究課に加えて、新たに資料普及課を設置。
2001年~ 2005年	(平成13~ 平成17)	銚子塚古墳 史跡整備にともなう第2次発掘調査。
2002年	(平成14)	考古博物館・埋蔵文化財センター20周年イベントとして、パネルディスカッション「縄文トーク2002 in 山梨」を開催。記念展示会「The Jomon」を開催。
2004年	(平成16)	普及事業「発掘体験セミナー」を開催(以後毎年実施)。甲府城稻荷櫓復元。
2005年	(平成17)	国の補助金を得た「埋蔵文化財学習活用事業」を展開(以後毎年展開)。
2010年	(平成22)	資料普及事業と甲府城跡鉄門整備事業の合同企画「ひらけ!玉手箱」を県民の日(11月20日)に開催(以後毎年開催)。
2011年	(平成23)	山梨県埋蔵文化財センター峡北収蔵庫(旧峡北高校)を新たな収蔵施設として利用開始。
2012年	(平成24)	峡北収蔵庫を「遺跡まなび館」として活用開始。開所30周年イベントとして考古博物館にて「考古博物館・埋蔵文化財センターの歩み展」開催。
2013年	(平成25)	甲府城鉄門復元。



これは、遺跡の発掘調査で出土した土器です。
実際に、土器に触れることができるのは、埋蔵文化財センターならではの体験です。



節電対策の一環で栽培した、さつまいもを収穫して焼き芋をつくりました。アツアツでほくほくの焼き芋は大人気!



大人も子供も真剣なまなざしで、的をねらっています。



埋蔵文化財センターでは、資料普及事業として発掘調査の体験や拓本、土器作り、石包丁づくり、火おこし体験などを行っています。今年は30周年記念イベントとして、11月20日に、山梨県立考古博物館で「考古博物館と埋蔵文化財センターの30周年のあゆみ展」を開催し、広場では、出土遺物に触れる体験、狩猟体験、火おこしなどを盛大に行いました。

当日は、700人をこえる参加者があり、なかでも、狩猟体験は人気があり、行列ができていました。